

プログラム名		こんなゴミをみつけよう						
対象年齢		年中・年長 (4～6歳)						
ねらい	メッセージ	・ゴミが落ちていない場所が、自然物や人間にとって快適であることに気づこう						
	発見・体感できること	・ゴミが自然界の中にたくさん存在していること ・土に還るゴミと土に還らないゴミの違い						
参加者のめやす		幼児 5人×3グループ / 支援者 3人						
実施時間		30分						
フィールド								
		森・社寺林・公園	山・里山	川	湖・池	田畑・野原	園庭・公園	
実施可能時期								
自然を感じるためのヒント								
時 間	活 動	●配慮・アドバイス アレンジ						
15分	「ビニール」「缶・ペットボトル」「紙・すいがら」の3枚のカードから一枚を引き、カードに記されたゴミを探しに行く	●活動場所の範囲を決めてから実施しましょう ●始めに、ビニール、缶、ペットボトル、紙、すいがらの現物を確認し合うとよいでしょう ●ゴミを不必要にきたならないよう、導入をするとういでしょう ●自治体のゴミの分別方法に合わせてカードを用意するとよいでしょう ●素手でゴミを拾う場合は、特に終了後の手洗いを徹底しましょう。また、火ばさみを使うと、道具を使う大切さを伝えることができます						
5分	ゴミを拾ってゴミ大王の所へ持っていく							

時 間	活 動	●配慮・アドバイス アレンジ
5分	どんなゴミが集まったか見る	室内で出るゴミと比較してみるのもよいでしょう。
5分	自然とゴミの関係について考える	●分解されるゴミについては、量にもよりますが、少量であれば土にかえせることを伝えるとよいでしょう。  【豆知識】 土に還る・還らない 土に還るもの... バナナの皮、野菜くず、魚の骨などの生ゴミ、絹や木綿などの天然繊維、葉っぱ など 土に還らないもの... ビニール袋、プラスチックなどの石油製品、空き缶などの金属製品 など
【異年齢への対応】 年少：親子で活動してみましょう。 また、散歩の途中で支援者と一緒にゴミ拾いをしてみましょう。		
【園や家庭へ帰ってから】 園や家庭のゴミにはどんな種類があるか調べてみましょう。 土に還るものと土に還らないものを分別することの大切さについて、みんなで話し合ってみましょう。 ゴミを落とさない、落ちているゴミを見つけたら持ち帰るという意識を引き出し、散歩のときなどに行動につながるようにしましょう。		
準備物・教材等	・ゴミ袋 ・カード...「ビニール」「缶・ペットボトル」「紙・すいがら」等、ゴミの分別に合わせたもの ・火ばさみ ・子ども用軍手 ・（ゴミ大王の衣装）	

